

マスコミ各位

平成30年11月26日（月）
保健医療部 地域保健課 結核感染症班
担当：久高、仁平（866-2215）

「平成30年度世界エイズデー」の実施について UPDATE！ エイズ治療のこと HIV検査のこと（キャンペーンテーマ）

「世界エイズデー（12月1日）」は、エイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的に、1988年にWHO（世界保健機関）が提唱、1996年からUNAIDS（国連合同エイズ計画）もこの活動を継承しています。国内においてもこの趣旨に賛同し、12月1日を中心に、全国的な啓発活動が実施されます。

県内では、12月1日を中心に、各種啓発活動の他、各保健所でHIV即日検査・休日検査等を拡充して実施します。 検査は、無料・匿名で実施し予約制です。受付時間など詳しくは、各保健所へお問合せください（p.7-下参照）。

- 1 2017年新規 HIV 感染者・エイズ患者報告数が上位10位の自治体（p.2-下参照）
厚生労働省エイズ動向委員会によると、2017年の沖縄県の人口10万あたりの報告数は、HIV感染者は全国2位、エイズ患者は全国3位となっています。
- 2 2018年の県内 HIV 感染者・エイズ患者発生動向
 - ① HIV 感染者・エイズ患者の新規報告数
11月21日時点の新規報告者数はHIV感染者13例（68.4%）、エイズ患者6例（31.6%）、合計19例となっています（p.3-上参照）。診断時に既にエイズを発症している患者の割合は全国平均（約30%）に比べ高くなっています。
 - ② 男女別
新規報告者数19例のうち、男性17例（89.5%）、女性2例（10.5%）となっています。これまでの累積報告数では、389例のうち男性366例（94.1%）、女性23例（5.9%）となっています（p.3-下参照）。
 - ③ 年代別
新規報告者数19例のうち、30代が8例（42.1%）と最も多く、次いで50歳以上が5例（26.3%）、20代が3例（15.8%）、40代が2例（10.5%）、20歳未満が1例（5.3%）ずつの順となっています（p.4-上参照）。
 - ④ 推定感染経路別
新規報告者数19例のうち、男性同性間の性的接触が11例（57.9%）と最も多く、次いで異性間の性的接触が6例（31.6%）、その他・不明が2例（10.5%）となっています（p.4-下参照）。
 - ⑤ 保健所実施 HIV 抗体検査件数
2018年10月末時点の各保健所で実施しているHIV抗体検査件数は1,638人と、昨年同時期の1,841人より少なくなっています（p.6-上参照）。今年度は麻しん流行への対応のため、4～5月に多くの保健所で検査を中止したことによる影響です。

3 2018年の県内梅毒患者発生動向

11月21日時点の報告数は67例で、そのうち男性が58例(86.6%)、女性が9例(13.4%)となっています。男女ともに1999年以降、最多の報告数となっています(p.6-下参照)。

2018年9月3日(月)に、今年は8月31日時点で47例(男性:39例、女性:8例)の報告があったことをお知らせしましたが、その後の約3カ月間で新たに20例の報告がありました。推定感染経路は66例(98.5%)が性的接触で、異性間の性的接触が67例中37例(55.2%)と最も多く、次いで男性同性間の性的接触が20例(29.9%)、性的接触(詳細不明)が9例(13.4%)となっています。

4 感染予防(感染拡大防止)

○HIVの感染は、性行為以外の日常的な接触では感染せず、性行為の際も、コンドームを正しく使用することで予防が可能です。

○梅毒の感染も性行為によるものがほとんどであり、感染予防にはコンドームの使用が重要ですが、梅毒は感染力が強いため充分とは言えません。治療が可能ですので、検査により早期発見することが重要です。但し、梅毒は再感染するため、治療後も引き続き対策が必要です。

○感染の不安のある方は検査を受けてください。医療機関の他、保健所では無料匿名検査を実施しています。

5 エイズデーに係るHIV検査の拡充について

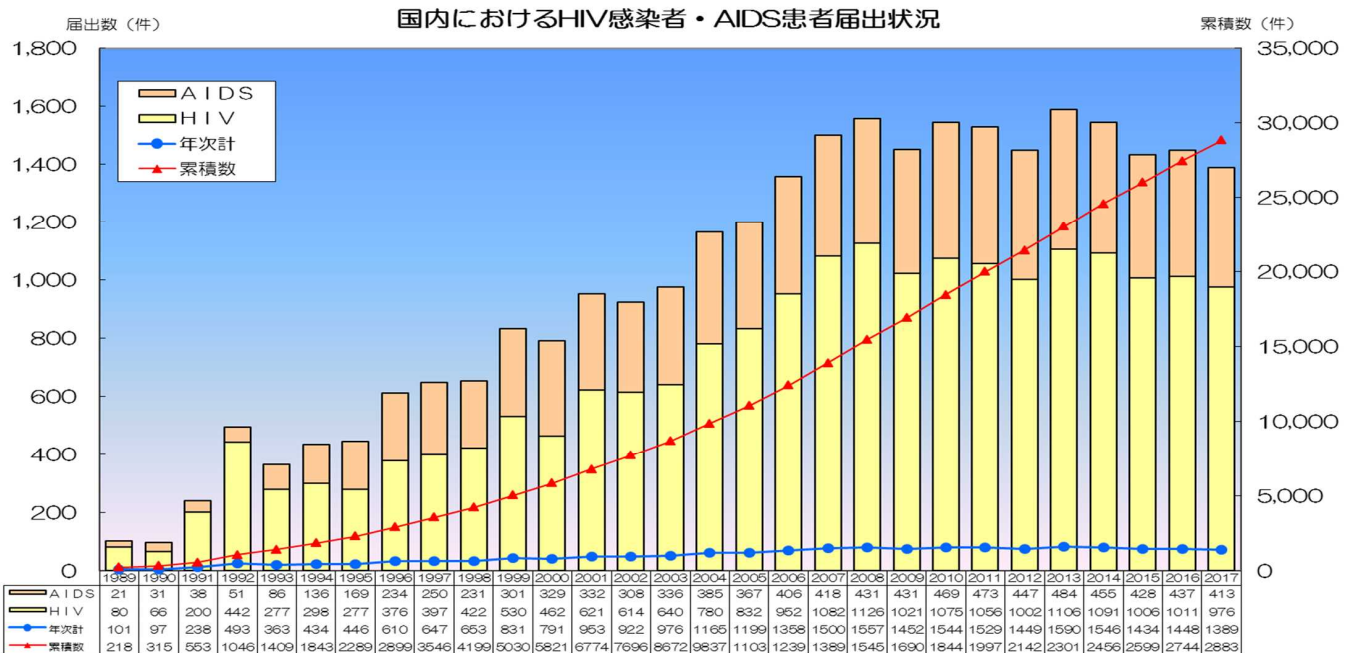
通常実施している検査に加え、世界エイズデー以降に即日検査や休日検査等の拡充を実施します(p.7上下参照)。梅毒等の同時受検も可能となっています。

エイズ(AIDS)について

- エイズは、「後天性免疫不全症候群」ともいい、HIV(エイズの原因ウイルス)に感染することによっておこる病気です。
- HIVに感染してから2~3週間すると、風邪のような症状がでます。こういう症状が数日~10週間くらい続き、ほとんどの場合は自然に消えてしまいます。
- その後、数年~10年間くらいは何も症状はありませんが、体の中でHIVがひそかに広がっています。
- 何も治療をしないですとさらに進行し、微熱や下痢が続いたり、リンパ節が腫れたり、肺炎などを起こします。
このような状態になると「エイズを発症した」「エイズになった」といいます。
- 感染経路は、①性行為、②血液を介しての感染(注射器具の共用など)③母子感染の3つです。
- 検査と治療
 - ・検査: 保健所等で無料、匿名で受検できます。
 - ・治療: 治療薬の進歩により、現在エイズはコントロールできる病気になりました。
検査の結果、たとえHIVに感染していても、早期に発見し適切な治療を始めれば、エイズの発症を回避することができます。
- 予防
HIV感染の80%以上は性行為によるもので、コンドームを正しく使用することで予防できます。

国内におけるHIV感染者・エイズ患者届出状況

・2017年届出数は、HIV 976件、AIDS 413件(累計28,832件)



沖縄県の状況

(2018年11月21日時点)

1. 2017年 新規 HIV感染者／AIDS患者報告数 (上位10位の自治体)

a. HIV感染者上位自治体

| | 自治体 | 報告数 | | 自治体 | 人口10万人対 |
|----|------|-----|----|------|---------|
| 1 | 東京都 | 362 | 1 | 東京都 | 2.638 |
| 2 | 大阪府 | 124 | 2 | 沖縄県 | 1.594 |
| 3 | 神奈川県 | 57 | 3 | 大阪府 | 1.405 |
| 4 | 福岡県 | 54 | 4 | 福岡県 | 1.057 |
| 5 | 愛知県 | 41 | 5 | 岡山県 | 0.839 |
| 6 | 千葉県 | 34 | 6 | 香川県 | 0.724 |
| 7 | 埼玉県 | 25 | 7 | 鹿児島県 | 0.677 |
| 7 | 兵庫県 | 25 | 8 | 宮崎県 | 0.643 |
| 9 | 沖縄県 | 23 | 9 | 神奈川県 | 0.622 |
| 10 | 北海道 | 19 | 10 | 熊本県 | 0.567 |

b. AIDS患者上位自治体

| | 自治体 | 報告数 | | 自治体 | 人口10万人対 |
|----|------|-----|----|------|---------|
| 1 | 東京都 | 97 | 1 | 東京都 | 0.707 |
| 2 | 大阪府 | 50 | 2 | 大阪府 | 0.567 |
| 3 | 愛知県 | 26 | 3 | 沖縄県 | 0.554 |
| 4 | 神奈川県 | 25 | 4 | 富山県 | 0.473 |
| 5 | 福岡県 | 24 | 5 | 福岡県 | 0.470 |
| 6 | 千葉県 | 17 | 6 | 鹿児島県 | 0.431 |
| 7 | 北海道 | 15 | 7 | 高知県 | 0.420 |
| 8 | 兵庫県 | 11 | 8 | 香川県 | 0.414 |
| 9 | 京都府 | 10 | 9 | 徳島県 | 0.404 |
| 10 | 埼玉県 | 9 | 10 | 京都府 | 0.385 |

2017年人口10万人対の報告数で沖縄県は、

- HIV感染者
全国2位 (1.594人)
- AIDS患者
全国3位 (0.554人)

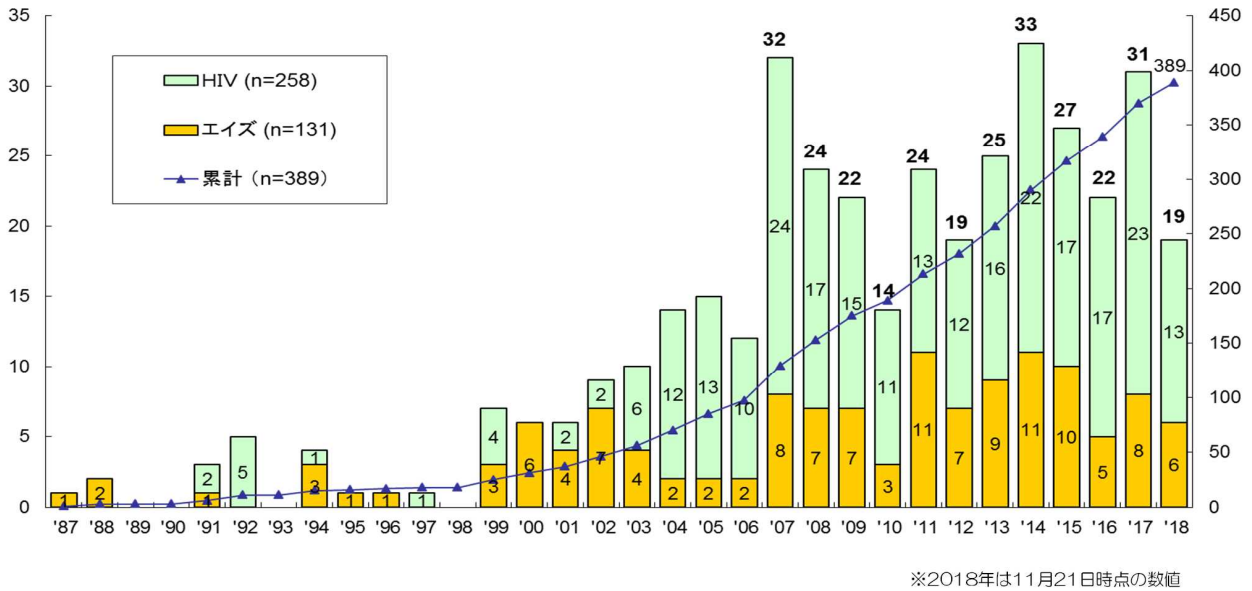
沖縄県は平成18年度より重点的に連絡調整すべき都道府県等に選定されている。

※報告日に基づく集計

出典：平成29年(2017)エイズ発生動向(厚生労働省エイズ動向委員会) 一部改変 <http://api-net.jfap.or.jp/>

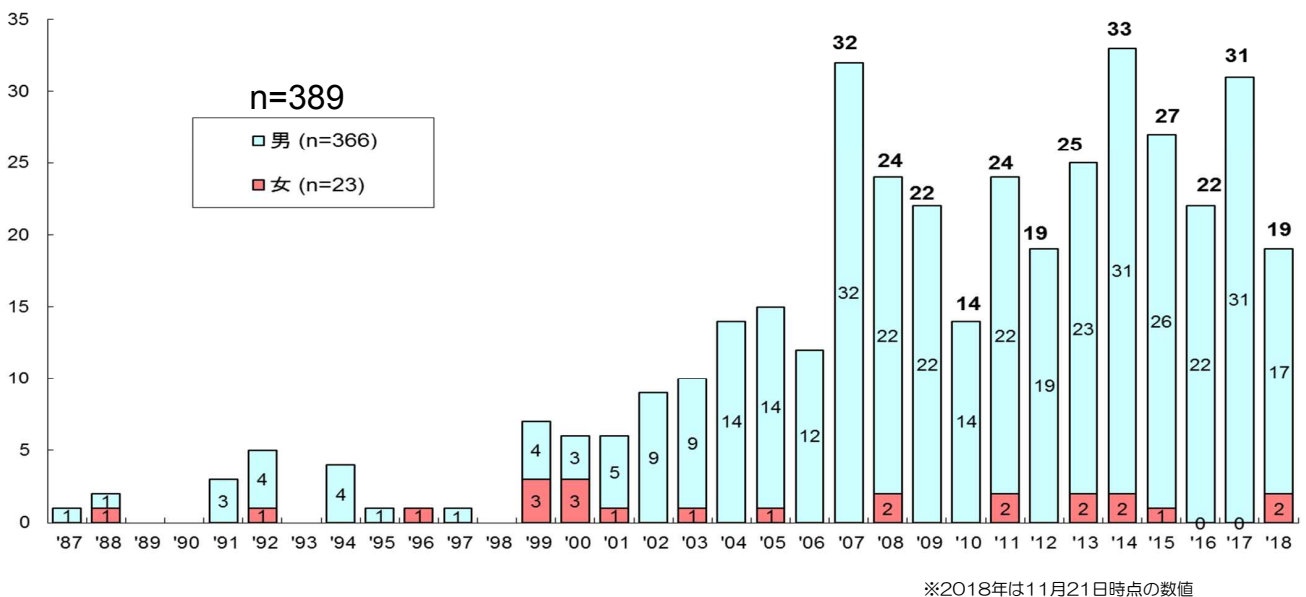
2. HIV感染者／AIDS患者の届出状況

- 2018年は11月21日時点で19件（HIV 13件、エイズ 6件）
- 累計は389件



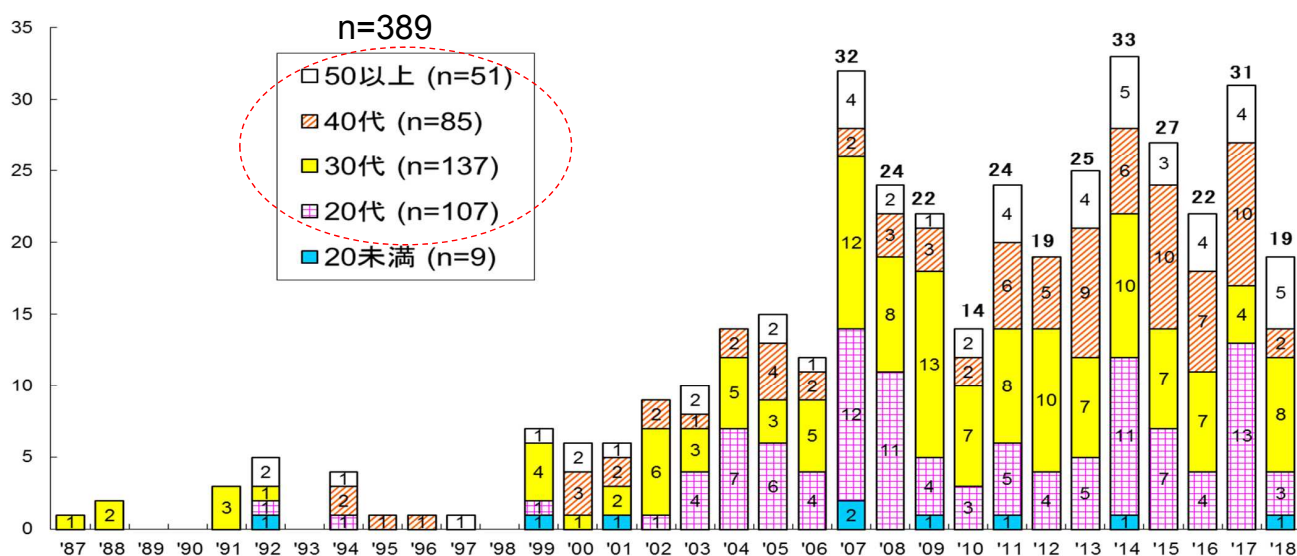
3. 男女別

- 2018年（11月21日時点）は、男性17件
- 累計では男性が94.1%を占めている（男性366件、女性23件）



4. 年代別

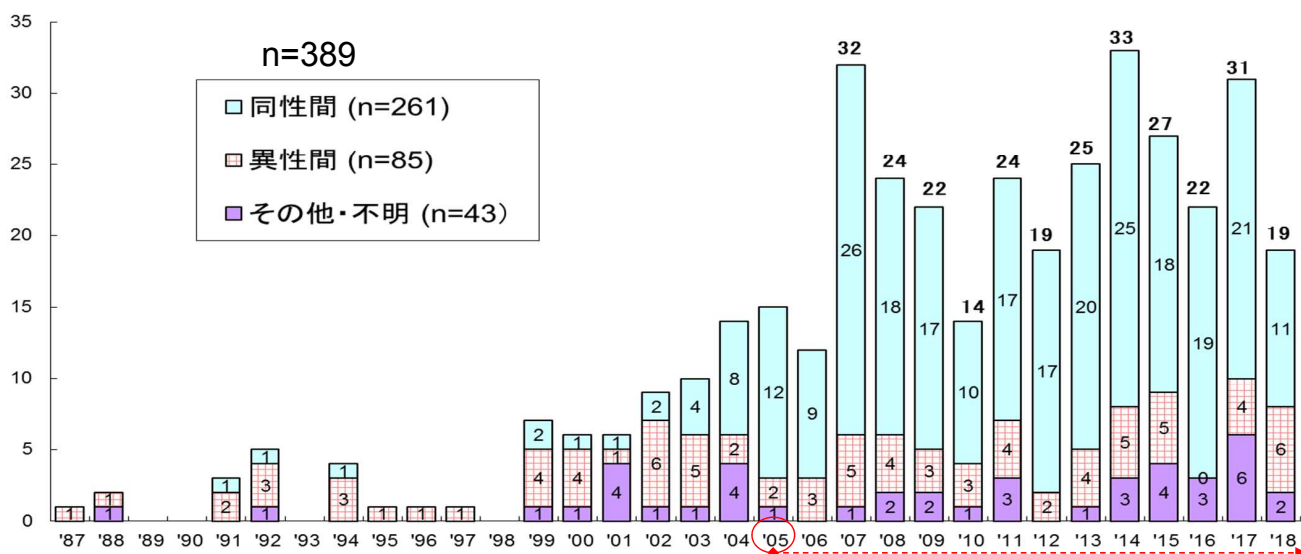
- 20～50代に幅広く分布している



※2018年は11月21日時点の数値

5. 推定感染経路別

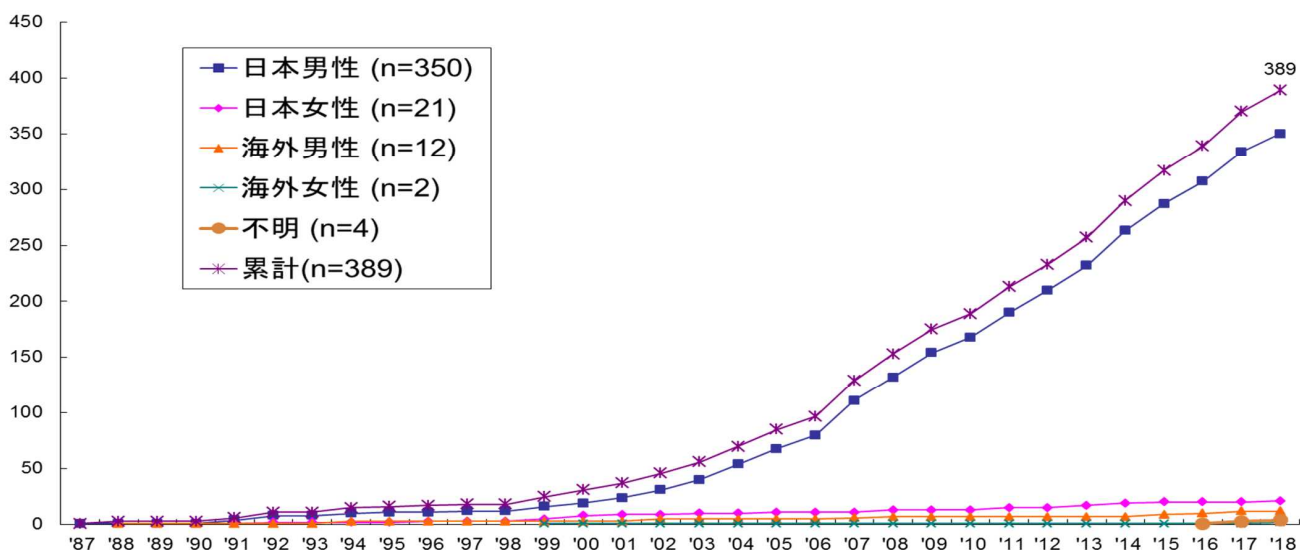
- 2005年以降、男性同性間性的接触が約6～9割を占めている
- 異性間性的接触での感染も続いている



※2018年は11月21日時点の数値

6. 国籍別

- 累計では日本人男性が90.0%を占めている

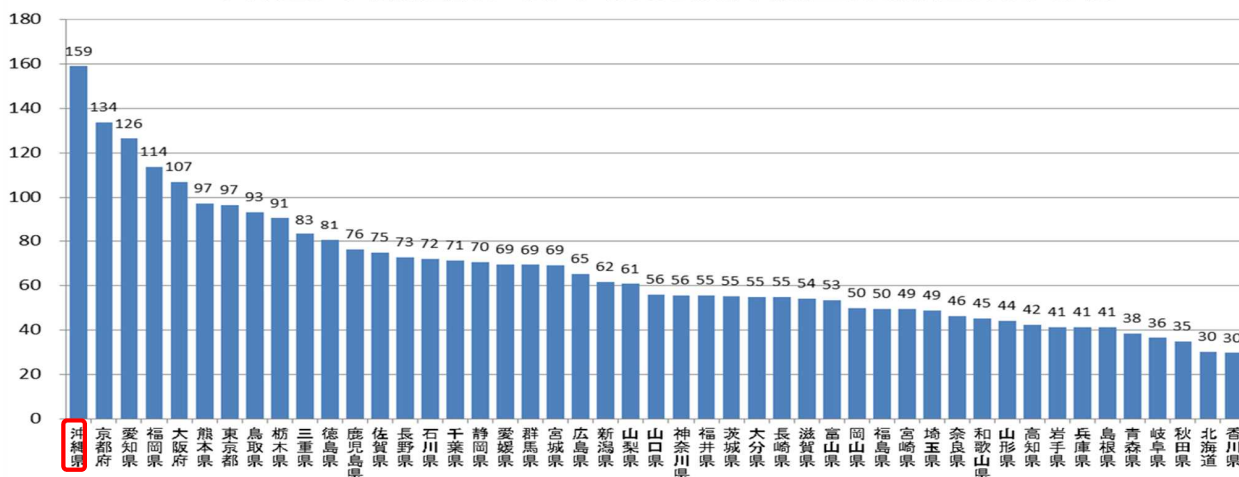


※2018年は11月21日時点の数値

7. 人口10万人あたりの都道府県別 HIV抗体検査数(2017年)

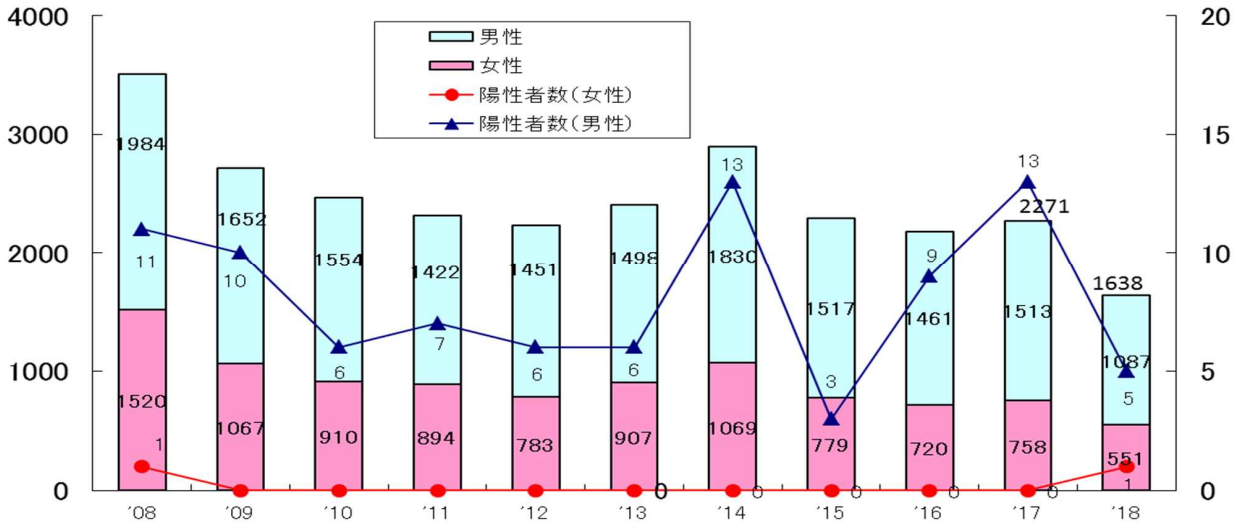
- 沖縄県は、人口10万人対では159件（全国1位）
- 県民の検査に対する意識は全国に比べて高い

平成29年保健所におけるHIV抗体検査件数(10万人対)



8. 保健所におけるHIV抗体検査件数

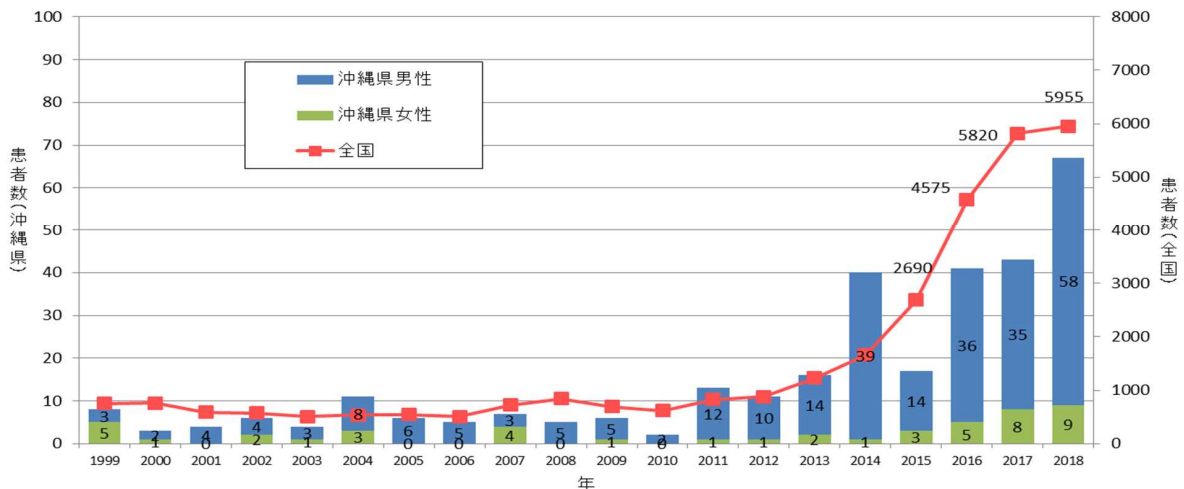
- 2018年は10月末時点で 1,638件（男性 1,087件、女性 551件）



※2018年は10月末時点の数値

9. 全国及び沖縄県の梅毒患者の届出状況

- 沖縄県の2018年は、11月21日時点で 67件（男性 58件、女性 9件）
- 全国の2018年は、45週（11月11日）までに 5,955件



※沖縄県の2018年は11月21日時点の数値

※全国の2018年は45週までの数値

10. 保健所HIV抗体検査スケジュール(平時)

平成30年度HIV検査日程

| 検査・相談 機関名 | 問合先 電話番号 | 実施曜日、時間 | 即日・通常 | 夜間 | 予約 | 備考 |
|--------------|--------------|---|------------------------|----|----|----|
| 北部保健所 | 0980-52-5219 | (火) 13:00~14:00 (木) 9:00~10:00、13:00~14:00 | 即日 | | 必要 | |
| 中部保健所 | 098-938-9701 | (火) 9:30~10:30、13:00~14:00 | 即日 | | 必要 | |
| 南部保健所 | 098-889-6591 | (火、木) 9:00~10:30、13:00~15:00 | 即日 | | 必要 | |
| 宮古保健所 | 0980-73-5074 | (火、木) 9:00~11:00、13:00~15:00 | 即日 | | 必要 | |
| 八重山保健所 | 0980-82-3240 | (月~金) 9:00~11:00、13:00~15:00 | (月、水、金) 通常 (火、木) 即日 | | 必要 | |
| 那覇市保健所 | 098-853-7971 | (月、水、金) 9:30~11:30 13:00~15:00 (第1水曜日) 17:00~20:00 | 即日 | ○ | 必要 | |

即日検査・・・問診、採血を実施し、1~2時間後に結果をお知らせします。
通常検査・・・問診、採血を実施し、後日結果をお知らせします。

11. 保健所HIV抗体検査スケジュール(拡充)

平成30年度世界エイズデーに伴うHIV検査追加日程(平時の検査日程もご確認ください)

| 検査・相談 機関名 | 問合先 電話番号 | 実施日 | 時間 | 即日・通常 | 夜間 | 予約 | 備考 |
|--------------|--------------|---------------------------------------|------------------------|-------|----|----|----|
| 北部保健所 | 0980-52-5219 | 12/3(月)、12/5(水)、 12/7(金) | 9:00~10:00、13:00~14:00 | 即日 | | 必要 | |
| 中部保健所 | 098-938-9701 | 12/1(土)、12/3(月) | 9:30~10:30、13:00~14:00 | 即日 | | 必要 | |
| 南部保健所 | 098-889-6591 | 12/1(土) | 9:00~10:30、13:00~15:00 | 即日 | | 必要 | |
| 宮古保健所 | 0980-73-5074 | 12/5(水) | 9:00~11:00、13:00~15:00 | 即日 | | 必要 | |
| 八重山保健所 | 0980-82-3240 | 11/28(水)、11/30(金)、 12/3(月)、12/5(水) | 9:00~11:00、13:00~15:30 | 即日 | | 必要 | |
| 那覇市保健所 | 098-853-7971 | 12/4(火)、12/6(木)、 12/15(土) | 9:30~11:30、13:00~15:00 | 即日 | | 必要 | |

即日検査・・・問診、採血を実施し、1~2時間後に結果をお知らせします。